

臼井公民館

# 臼井・千代田地区の概要

---

## ○臼井地区

臼井地区は、北に印旛沼、東に鹿島川、西に手繰川というように三方を河川に囲まれている。地区の歩みでみると、鎌倉時代に桓武平氏一族の臼井氏が開発領主として臼井地方に拠って以後発展し、江戸時代中期以降は成田街道の宿場臼井として賑わった。

昭和53年には区画整理地の中に京成臼井駅が移転し、ここを中心にショッピングセンターや商店などが集まった地区が形成され、臼井地区の新しい核となっている。

また、街の賑わいに水と緑と歴史に恵まれた環境を活かして、臼井ふるさとにぎわい祭や佐倉チュールリップまつりなどのイベントが開かれる他、計画的なまちづくりが進んでいる。

## ○千代田地区

千代田地区は、佐倉市誕生後に四街道市（当時四街道町）から編入した5地区から成っている。大半は農業地域であったが、北部の生谷・飯重・吉見地区には、大手開発業者による大規模宅地開発（染井野）に伴い、公園が整備され小中学校があいついで開校するなど、公共施設も充実してきた。21世紀初頭には、人口約1万人の新しいまちが完成する計画がゆるやかに進行している。地区全体としては、都市形成が進む北部地域と従来からの農業地域に二分しつつあるといえる。

古くからある団地内では自治会・文化活動、農業地区では地域ぐるみの農業と、コミュニティー活動がさかんである。この活動の輪は、住民の交流としていざという時に助け合う「防災姉妹地区制度」の調印市内第一号という形でも表れている。

# 管理・運営の部

## 1. 公民館運営計画

---

### 運営方針

臼井公民館は、常に地域の実態や市民生活の急速な変容にともなう学習要求や生活課題を的確に捉えながら、新しいまちづくりをめざす市民の連帯意識を高める。これと共に、市民が自主的に「集い」「学び」そして「伝えていく」活動を助成し、よって、市民の生涯学習と地域社会教育活動の中心施設として、その役割を果たすことに務める。

### 努力目標

- より多くの市民に親しまれ、活用される公民館として、その学習環境づくりに務める。
- 市民の自主的な学習活動を援助するために、各種情報・資料の整理・提供に務める。
- 学級・講座の精選と学習内容の充実に務める。
- 複合施設（市民音楽ホール等）の持つ機能をより効果的に発揮するための研修、調査を進める。

### 事業内容

#### 1. 学級・講座の開設

地域の特性を考慮しながら市民生活に身近な課題をとりあげて、継続的・体系的に学習していく。また、与えるだけの学習ではなく、参加者が自らつくり出す学習をめざし、内容を充実させていく。

#### 2. 団体育成事業

各種の団体が自主的・継続的に充実した活動が進められるように、情報資料の提供や適切な助言、各機関との連絡調整を行う。

#### 3. 広報・展示事業

- 学級・講座のお知らせや、グループ活動の紹介、その他さまざまな情報を提供し、公民館への認識と理解を深める。
- 市民の学習活動の発表展示の場として、広く市民に展示室を提供する。また、郷土の自然・生活・文化・芸術その他市民生活に関する事など幅広い分野からテーマを設定して展示会を催す。

#### 4. 図書事業

- 市立図書館の分館的機能を持ちながら、複合館としての特殊性と地域性を考慮しつつ運営していく。
- 音楽関係図書の充実と一般図書・児童図書の蔵書数の増加をめざし、利用増大をはかる。

#### 5. 施設・設備提供事業

- 開館日・貸出時間 第1・3・5月・火・木・日曜日及び祝日 9:00～17:00  
水・金・土曜日 9:00～21:00（夜間の利用のない場合は17:00まで）  
（ただし、図書室は第1火曜日を除く火～日曜日の9:00～17:00に業務を行う）  
※使用の受付は原則として、2カ月前の月初めに設定した利用抽選日から、月2回分の予約を受け付ける。3回以上の使用は使用日の前々月末日から受け付ける。
- 休館日 第2・4月曜日、年末年始（12月28日～1月4日）、施設保守点検日
- その他  
・使用料については市民音楽ホールを有料で使用する団体には有料で、減免又は無料で使用する場合には無料で提供する。  
・利用抽選会は2ヶ月前の月初に実施し、予約を入れていく。これは各団体が一堂に集まる機会でもあるので、団体交流と公民館活動への認識を深める場としても有効に利用する。

## 2. 公民館利用状況

---

### 年度別利用状況

年度 区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
利用件数	2,516	2,674	2,573	2,495	2,569
利用人数	46,555	48,860	46,319	42,919	43,939
開館日数	334	333	334	333	333

# 事業の部

## 事業一覧

領域	事業名	内容	対象	期間・回数
家庭	おはなし会	図書館のない臼井地区で行う、図書館同様の読書活動推進の手目の事業。子供たち向けに、すばなしと絵本の読み聞かせによるおはなし会で、本の世界に親しみました。奇数月には年度ごとのテーマに沿ったお話しを、夏休みには「こわーいおはなし会」行いました。	5歳～大人 357人	月1回土曜日 12回
	2・3歳児親子遊び	親子あそびにより温もりある親子関係を育みます。また、サークル活動をサポートし、季節行事や遊び会を実施しました。	2・3歳児 と保護者 各15組 30人	前期5回 158人 七夕 30人 後期3回 86人
	家庭教育講座 「ちょっと聞いてみたい、ドイツの家庭と生活」	子どもがより良く成長するために、家庭の働きや親子のあり方などを学習するために、外国の家庭や教育事情をドイツ人講師から学びました。	小学生以上の保護者	11/27 29人
	家庭教育講座 「クリスマスピラミッドをつくろう」	臼井公民館仕様のクリスマスの本場ドイツ風の季節飾りを親子で製作に取り組み、話題と絆を深めるきっかけを育む講座を実施しました。	小学生～成人	12/17 午前 14人 午後 13人
青少年教育	佐倉っ子塾共通講座 「音の科学と手作り楽器」	「ストリートオルガンの笛を作ろう」をテーマに、ストリートオルガンの音の鳴る仕組みを調べ、手づくり楽器により創造力を育む講座。	小学校4～6年生	7/24～26 延べ 23人
	佐倉っ子塾共通講座 「水辺観察会」	環境意識を育む「水辺の自然観察会」と「県内水面水産研究所見学会」を実施し、水辺環境を身近なものとして捉える目を養う講座。	小学校4～6年生	7/26 12人
	佐倉っ子共通講座 「自然発見講座」	身近な地域の歴史や自然を自分の目で確かめ、理解と関心を深める親子参加型講座。	小学校4～6年生	8/6 6人
	舞台のお仕事探検隊	市民音楽ホールの普段は見ることができない裏周り（バックステージ）の見学と、演奏会を支えている音響・照明等を体験し、舞台芸術の仕事への理解を深めました。 ※佐倉市民音楽ホール共催	小学校4年生～成人	8/7 7人
	地域づくり入門講座 「バラエティー番組の舞台裏」	身近なバラエティー番組からコミュニケーション術と多様な出演者をまとめて番組の作り上げる技から隣近所との付き合い方のヒントを学びます。	成人	7/5 88人
	佐倉学専門講座 大人のための 「印旛沼と自然」講座 臼井の湧水巡り	佐倉の象徴とも言える「印旛沼」をはじめとした身近な自然について学び、体験することで、豊かな自然を次世代へと伝えていくことの重要性を認識してもらう。	成人	11/12 6人

成人教育	佐倉学専門講座 印旛沼公開講座「温故知新」	佐倉市の特色を活かした専門講座。佐倉の象徴として「印旛沼」をはじめとした身近な自然について学び、体験することで、豊かな自然を次世代へと伝えていくことの重要性を認識しました。(中央公民館共同事業)	成人 各 90 人程度	8/27・10/1・10/27・11/26 283 人
	佐倉学入門講座 「中世の佐倉・臼井城とその時代」	当地の歴史を語る際に欠かせない「臼井城」を主テーマで、講義と市内外の中世城址や収蔵庫をバスでの歴史散策を組み合わせ、広く地域の歴史を学びました。	成人	10/27・11/10・11/24 55 人
	佐倉学体験講座 「ちょっといいところ見て歩き」	佐倉市とその近隣地域の見学学習をおし、地域の歴史・文化を知るとともに、自然と環境の変化も考えます。	成人 20 人程度	4/27・5/2 37 人
	佐倉学講座 「成田街道を歩く」	佐倉新町から成田山新勝寺までの成田道を歩き、成田道に係る様々な学習を通し、郷土佐倉への理解を深める。成田道や佐倉藩に関わる地を巡る。 ※社会教育課共催	成人	1/17・1/24・1/31 66 人 1/27・2/3・2/10 89 人
	佐倉学入門講座 写真展「臼井・千代田・印旛沼」	臼井、千代田地区の自然や地区の成り立ちについて、主に市所蔵の写真から学ぶ。	成人	8/10～28 (8/20・8/22 除) 1,547 人
	佐倉学入門講座 「ちょっといいところ見て歩き」写真展	主催事業「ちょっといいところ見て歩き」などで巡った地域の文化財・史跡について写真で地域の魅力を紹介する写真展。	成人	2/7～12 708 人
広報展示	パソコン自由利用	「施設利用システム」など体験など、インターネットを介した情報収集ができるようパソコンを設置し、市民の利用に供する。	小学生～成人	通年
	臼井公民館だより発行	公民館の事業紹介や募集、地域の情報等を提供する。	主に臼井・千代田地区	6 月・2 月 各 500 部
	展示室の貸出し	市内の美術サークル等に対して展示室を 1 週間単位で提供し、各種展示会を開催することで地域文化の向上に寄与する。	市内団体	通年
図書	図書の貸出し	市立図書館と連携し、図書の貸出し・返却受付、相談などを行いました。	一般	通年 貸出冊数 146,080 冊 利用者数 51,424 人
団体育成	臼井地区子ども会育成会連絡協議会	単位子ども会の円滑な運営を図るための相談・研修・情報交換や自主事業を実施しました。	加盟単位子ども会 13 団体	通年

# 1. 家庭教育事業

## おはなし会

- 開設趣旨 子どもにおはなしをすることで、物語（ストーリー）に親しませ、子どもと本をむすびつける。すばなしの他にパネルシアター・絵本の読み聞かせやテーブル人形劇などを組み合わせ、年齢の低い子どもたちにも「物語の世界」を楽しめるようにする。
- 対象・人数 5歳～大人・計357人
- 開催期間 毎月第2土曜日11回 14時～14時40分
- 内容 佐倉おはなしの会会員によるすばなし・読み聞かせ・パネルシアターなど
- 会場 臼井公民館（学習室）
- 協力者 佐倉おはなしの会
- 学習プログラム

月 日	すばなし	読み聞かせ	テーブル人形劇、ほか
4 / 9	ぼくはずかしいや わらわはない王女 あかずきん		こすずめぼうけん（大型絵本）
5 / 14	カテリーネとはえのビッポ ピョントコショ くわす女房		ぼんたのじどうはんばいき（テーブル人形）
6 / 11	まめだぬき おだんごぱん 5つぶのえんどうまめ		宇宙人の手遊び ふたりのあさごはん（テーブル人形）
7 / 9	ほらあなさま となりの洋館		くるるんじどうしゃ（絵巻物） タコの手袋人形 おやゆごこぞう（紙芝居）
8 / 24	こそだてゆうれい げげのぶし のっぺらぼう ゆうかんな靴直し		おばけの手袋人形
9 / 10	子ぎつねのライオン退治 笛を吹くオオカミ		きよだいなきよだいな（大型絵本） ブーンブンブン（紙芝居） 魔法使いの小人の手袋人形
10 / 8	あたまに柿の木 お月様のドレス（参加型）		きしゃ（パネルシアター） ジャック・オ・ランタンの手袋人形 かあさんのイコカ（紙芝居）
11 / 12	くまとたびびと くまときつね ギャッコと豆		五人の小人さん（手遊び） すてきな三にんぐみ（大型絵本）
12 / 10	黒クマのぼうや	ゆめのゆき	まどから★おくりもの（大型絵本） てぶくろ（テーブル人形）

1/14	おむすびころりん ふくろうのそめものや		それでもたまごはわれません（紙芝居） 大きくなったら（手遊び） ねずみのすもう（テーブル人形）
2/12	しましま みをくうへび ブクッティーンとおに		よくばりすぎたねこ（大型絵本）
3/13	かえるになったぼたもち エパミナンダス	3びきのくま	まほうのふで（紙芝居）

○講座を終えて

毎月楽しみにしている子どもたちや安心して親と参加する子どもも見られる。各回すばなしだけでなく、紙芝居やテーブル人形劇等を組み合わせることにより、幼児から大人まで幅広い年齢層の方たちに楽しんでもらうことができた。

## 親子ふれあい遊び会

- 開設趣旨 親と子がさまざまな遊びを通して、きずなを深める。季節飾りを身近な素材で親子で製作に取り組み、話題と絆を深めるきっかけを育む。  
将来的にはグループ・サークルを形成し、自主的に活動することができるように育成支援する。

### ①クリスマスピラミッドをつくろう

- 対象・人数 小学生～成人、午前 14 人・午後 13 人  
○開催期間 12 月 17 日 10 時 00 分～17 時 15 分  
○内容 親子で季節感のある共通のテーマでの個性あるものづくり体験を通して、個々の発想を再確認する中で楽しい遊びや行事を取り入れた活動を行う。遊び方を共有し広めることで、円滑な親子・友だち関係を形成する。  
○会場 臼井公民館（創作室）  
○協力 講師 奥津友子氏・奥津輝久氏  
○講座を終えて

身近な素材で親子あそびを楽しみまし。また、臼井公民館仕様のクリスマスの本場ドイツ風の季節飾りなど、もの作りを親子で楽しみ触れ合い深めることができた。

## 絵本のおはなし会

- 開設趣旨 子育て支援事業として、親子や友達と楽しく遊びながら繋がりを深めていく。親子で参加し、手遊びあり、すばなしあり、読み聞かせあり同年代の子育て中の親子が楽しみながら交流できる場としても活用できるよう実施する。  
○対象・人数 2・3歳と保護者15組 延べ244人  
○開催期間 5月～7月の5回、10月～12月の3回 計8回 10時～11時  
○内容 ちびちびクラブ会員によるすばなし・読み聞かせ・など  
○会場 臼井公民館（集会室）  
○協力者 ちびちびクラブ  
○学習プログラム

回数	日時	内容
1	5/13	・あそび



(前期)		<p>【絵本】・いないいないばあ ・くっついた ・ちびごりらのちびちび ・だれかしら ・がたんごとんがたんごとん</p> <p>【わらべうた】・うまはとしとし ・おすわりやっす ・ねずみねずみ ・ちゅっちゅっっこ ・ひいらいたひいらいた ・ゆなのき ・にぎりぱっちり</p> <p>【ブックトーク】・どうぶつのおかあさん ・パンちゃんのおさんぽ ・わたしとあそんで ・10ぱんだ ・どこでおひるねしようかな</p>
2	5/27	<p>・あそび</p> <p>【絵本】・こんにちは ・くだもの ・はらぺこあおむし ・わたしのワンピース ・もうおきるかな</p> <p>【わらべうた】・うまはとしとし ・たかいやま ・ぎっこんぱっこん ・ねずみねずみ ・ちょうちょ ・ちゅっちゅっっこ ・こんまかなみ ・にぎりぱっちり ・こりゃどこのじーぞうさん ・ひいらいた ・ゆなのき</p> <p>【ブックトーク】・しろくまちゃんのほっとけーき等</p>
3	6/10	<p>・あそび</p> <p>【絵本】・のせてのせて ・かささしてあげるね ・ちいさなねこ ・おとうさんあそぼう ・たまごのあかちゃん</p> <p>【わらべうた】・なこうかとぼうか ・はなちゃん ・こーぶろ ・かれっこやいて ・ぎっこんぱっこん ・ちゅっちゅっっこ ・うえからしたから ・ももやももや ・ちっちゃくちっちゃく ・にぎりぱっちり ・あしあしあひる ・うまはとしとし ・どんどばし ・ゆなのき ・ととけっこう</p> <p>【ブックトーク】・本の紹介</p>
4	6/24	<p>・あそび</p> <p>【絵本】・もこもこもこ ・どうすればいいのかな ・ぐりとぐら ・おうのさんしてー ・1.2.3 どうぶつえんへ</p> <p>【ブックトーク】・こぐまちゃんのみずあそび ・どろんこおばけ</p>
5	7/8	<p>・あそび</p> <p>【絵本】・どろんこどろん ・ぷくちゃんのすてきなパンツ ・さんびきのくま ・ぼぼぼぼぼ ・おおきなかぶ</p> <p>【わらべうた】・どどっこやがいん ・ねずみねずみ ・おすわりやっす ・いちりにり ・ひとつひとつ</p> <p>【ブックトーク】・本の紹介</p>
6 (後期)	10/14	<p>・あそび</p> <p>【絵本】・いないいないばあ ・おつきさまこんばんは ・ちびごりらのちびちび ・たまごのあかちゃん ・がたんごとんがたんごとん</p> <p>【わらべうた】・おつきさま ・たかいやま ・さるのこしかけ ・せんべせんべ ・いないいないばあ ・ちゅっちゅっっこ ・にぎりぱっちり ・かぜになれ ・うまはとしとし ・ゆらりゆりのき ・なこうかとぼうか ・おーなみこなみ ・こんこんちきち ・ひらいたひらいた ・ゆうなのき</p> <p>【ブックトーク】・本の紹介</p>
7	11/25	<p>【絵本】・こんにちは ・みんなうんち ・おいしいもののすきなくまさん ・もうおきるかな ・くまさんくまさんなみてるの</p> <p>【わらべうた】・せんべせんべ ・さるのこしかけ ・ねずみねずみ ・いちりにり</p>

		<p>・ひとつひとつ ・ちゅっちゅこっこ ・こんまかなみ ・かぜになれ          ・にぎりぱっちり ・あしあしあひる ・どんどばし ・ゆうなのき          ・ととけっこう</p> <p>【ブックトーク】・本の紹介</p>
8	12/9	<p>【絵本】・あっぴっぴ ・のせてのせて ・ぐりとぐらのおきやくさま          ・でてこいでてこい ・おおきなかぶ</p> <p>【わらべうた】・たかいやま ・ぎったんぱっこん ・ねずみねずみ ・せんべせんべ          ・ちゅっちゅこっこ ・いないいないばあ ・にぎりぱっちり ・こんまかなみ          ・かぜになれ ・うまはとしとし ・ひらいたひらいた ・ゆうなのき</p> <p>【ブックトーク】・本の紹介</p>

○講座を終えて

今回は、前期5回が連続講座として開催し、後期は単発1回ずつの講座を10月から12月まで3回開催する形で行った。

5回連続講座だと申し込みにくいという利用者の声から試験的に行った形であるが、申し込みやすいというメリットがあるが、毎回参加者が半分ほど入れ替わる形だった。そのため、いつもは回を重ねるにつれて子供たちがリラックスしていく様子を感じられるが、それが感じられず、プログラムのにも組みにくかった。

## 家庭教育講座

ちょっと聞いてみたい、「ドイツの家庭と生活」

- 開設趣旨 家庭内での親子の関係・あり方を考える場を提供し、良好な親子関係を醸成するきっかけを提供する。
- 対象・人数 小学生以上の保護者、29人
- 開催期間 11月27日 午後2時～4時
- 内容 講座「ちょっと聞いてみたい、「ドイツの家庭と生活」」をドイツ人講師を招き、文化・生活・習慣の違いからのドイツ的子育てと家庭内・親子のコミュニケーションについて学ぶ。
- 会場 白井公民館（学習室）
- 指導者 講師 ウーヴェ・パッション氏  
講師・通訳 クラウディア・マーツ氏

○講座を終えて

前年度から男性・女性の視点から家庭を考えるにあたり、日本と交流150周年のドイツの家庭に焦点を当てた、家庭内における男女・親子のコミュニケーションについての講座であるが、多くの市民が参加しやすいテーマなどについての研究が課題である。

## 2. 青少年教育事業

### 手作り楽器教室

「ストリートオルガンの笛を作ろう」

- 開設趣旨 子どもたちに自らの手でものを作り出す楽しさと音を奏でる喜びを体験する機会を提供し、考え文化創造できる「佐倉っ子」を育む。
- 対象・人数 小学校4～6年生 延べ23人
- 開催期間 7月24・25・26日（3日間） 13:30～15:30

- 内 容 ストリートオルガンが音を出すための、主要な部分である笛を模して製作する。豊かな音色で鳴らすために加工しながら工具の使い方も習得し、その構造を学ぶ。(市民音楽ホール共催事業)
- 会 場 臼井公民館 (創作室)
- 指 導 者 岩崎 知郎氏
- 学習プログラム

回数	日 時	学 習 内 容	指 導 者
1	7月24日 (火) 13:30~15:30	音の科学・ストリートオルガンの仕組み いろいろな楽器の音程を調べる	岩崎 知郎 氏 (音楽家・古楽器製作者)
2	25日 (水) 13:30~15:30	ストリートオルガンの笛製作	岩崎 知郎 氏 (音楽家・古楽器製作者)
3	26日 (木) 13:30~15:30	ストリートオルガンの笛製作と音程調整 (本物のストリートオルガンを観察、作った笛と比較する)	岩崎 知郎 氏 (音楽家・古楽器製作者)

○講座を終えて

手作り楽器教室では笛を製作した。パイプの大小や長さによって音程が異なり、はじめは初めて使う工具等に不慣れな子どもたちの四苦八苦する様子が見られた。馴れるにしたがいそれぞれ大中小3本の笛を完成させることができた。

また、ストリートオルガンを実際に観察し、3日かけて作ったパーツがその一部として使われていることを理解し、音楽ホール複合施設ならではの事業となった。

### 水辺観察会

- 開 設 趣 旨 市内の水辺環境について、講義や野外観察を実施することで、子ども達が自然に親しみ、自然を大切にすることを養うとともに、自然環境の重要性を認識してもらう。
- 対象・人数 小学校4～6年生と保護者 12人
- 開 催 期 間 7月26日 (土) 9:30~16:00
- 内 容 室内講義と野外観察を通じ、身近な自然と環境について楽しく学ぶ。
- 会 場 臼井公民館 (学習室) 及び野外 (湧水: 市内各所)
- 講 師 (財) 千葉県環境財団 2名
- 学習プログラム 直弥谷津田・印旛沼での水辺を取巻く環境や、水辺の生物について学習し水辺の自然の豊かさを考える。一部でバックテストや透視度測定。最後に室内でまとめを実施。

○講座を終えて

今回の水辺観察会は、天候等により一部計画を変更 (予定: 印旛沼を屋形船より観察) したものの事故・怪我人もなく、無事に終わることができた。しかし、参加者が少なかったこと、参加者全員にタモ網が行き渡らなかったことなどの反省点がある。また、参加者から屋形船の件で残念がる声が多かった。

### 湧水探検隊

- 開 設 趣 旨 親子の絆を深めながら、地域である臼井地区の自然の象徴でもある印旛沼に注ぐ源である湧水について学ぶ。また同時に水辺の動植物についても学ぶ。
- 対象・人数 小学校4～6年生と保護者 6人

- 開催期間 8月6日(土) 10:00～12:00
- 内容 室内講義と野外観察を通じ、身近な自然と環境について楽しく学ぶ。
- 会場 臼井公民館(学習室)及び野外(湧水:円応寺近く・臼井の地名伝承の一つ～臼井城址～浄行寺跡付近～権現水(宋徳寺・徳川家康由来あり))
- 講師 NPO法人水環境研究所の2名及び応援スタッフ3名
- 学習プログラム 臼井地区の湧水を巡り、水辺の自然の豊かさを考える。一部でパックテスト(CDO, pH, 硝酸など)による簡易な水質実験も行い、最後に室内でまとめを実施。
- 講座を終えて  
親子でという趣旨においては、十分なスタッフ、適度なコースと湧水の組み合わせと精通した講師により充実した内容で実施することができました。水辺という場所がら、パックテストを実施したことから客観的材料で湧水を考えることができたと思われま

### 3. 成人教育事業

#### 佐倉学入門講座

##### 舞台のお仕事体験隊

- 開設趣旨 複合施設である市民音楽ホールで、普段見ることのできない「舞台裏」を見学、し事業がどういった仕事の積重ねで完成されるのかを体験しながら学ぶ。
- 対象・人数 小学校4年生～成人まで 7人
- 開催期間・会場 8月7日(日) 9:00～12:00 市民音楽ホール
- 講師 市民音楽ホール職員
- 学習目標 ふだん何気なく見ている催し物を多角的な視点から捉え、より楽しく鑑賞できるようにすることに主眼を置き、舞台の音響照明設備等を体験し、音楽ホールの仕事への理解を深め、文化施設にさらに親しみを感じられるようにする。

##### ○学習プログラム

回数	日時	学習内容	指導者	会場
1	8月7日(日) 9:00～12:00	袖幕から音響反射板・幕セッティング、照明・ピンスポットライト当て、ストリートオルガン演奏などを体験学習した。	市民音楽ホール職員	市民音楽ホール

- 講座を終えて  
この講座は、鑑賞者が目にする以前の下準備にはどういったものがあり、どのような労苦があるのかを、実際に体感し文化事業の良き理解者となって欲しいと考えた事業である。  
市民音楽ホールでの裏方の仕事を知り、文化活動に関心を持つ人たちが育って欲しいと考えている。

#### 地域づくり入門講座

##### 「バラエティー番組の舞台裏～笑いのコミュニケーション～」

- 開設趣旨 現役のテレビ局関係者を講師に招き、身近なバラエティ番組から人とコミュニケーション術を学ぶとともに多様な出演者をまとめて番組を作り上げる技から、隣近所との付き合い方のヒントを学ぶ。
- 対象・人数 一般・88人
- 開催期間 平成23年7月5日(火) 午後1時30分～3時
- 学習目標 身近なバラエティ番組から人とコミュニケーション術を学ぶとともに多様な出演

者をまとめて番組を作り上げる技から、隣近所との付き合い方のヒントを学ぶ。

○会場 臼井公民館 2F 集会室

○講師 テレビ朝日編成制作局制作1部ゼネラルプロデューサー 藤井 智久 氏

○学習プログラム

回数	日時	学習内容	指導者	会場
1	7月5日(火) 13:30~15:00	・テレビとテレビ局と地デジ (資料) ・番組の舞台裏と製作現場 (資料・映像)	テレビ朝日 ・広報局 小林 氏 ・編成制作局 藤井 氏	臼井公民館 2F 集会室

○講座を終えて 地域入門講座では扱っていない分野をバラエティー番組という切り口での企画はまずまずの集客・内容であったと判断しています。講演後のアンケート内容からも今回のような企画への満足度と関心も伺えることから講演会における「テーマ」と講師を吟味することの重要性が再確認できました。講師の話の内容と語り口の良さだけでなく、講演会場でそれらを支えるスタッフの仕事ぶりなども緻密・的確であり、当館の講座運営についても大いに学ぶ点がありました。

### 「大人のための「印旛沼と自然」講座 臼井の湧水巡り」

○開設趣旨 参加者の絆を深めながら、地域である臼井地区の自然の象徴である印旛沼に注ぐ源である湧水・地誌について学ぶ。

○対象・人数 一般・6人

○開催期間 平成23年11月12日午前8時30分～正午

○学習目標 臼井地区の湧水を実際に巡り、水辺の自然の豊かさを考える。それぞれの湧水についてパックテスト(COD, pH, 硝酸など)による簡易な水質実験も行い、最後に公民館へ戻りまとめを実施。

○会場 臼井地区(徒歩)

○講師 NPO 水環境研究所の2名及び応援スタッフ2名

○学習プログラム 臼井地区の湧水を巡り、水辺の自然の豊かさを考える。一部でパックテスト(COD, pH, 硝酸など)による簡易な水質実験も行い、最後に室内でまとめを実施。

○講座を終えて 地域について多角的に学ぶという趣旨においては、十分なスタッフ、適度なコースと湧水の組み合わせと精通した講師により充実した内容で実施することができました。水辺という場所から、パックテストを実施したことから客観的材料であり、参加者の好奇心・関心を高め、湧水を地域の自然環境などを考えることができたと思われまます。また、地域の参加者から様々な話題の提供も有り、参加者間のコミュニケーションを深めることができたのも大きな成果でした。

### 佐倉学専門講座

#### 印旛沼公開講座「温故知新」

○開設趣旨 佐倉市の特色を活かした専門講座である。佐倉の象徴とも言える「印旛沼」をはじめとした身近な自然について学び、体験することにより、豊かな自然を次

世代へと伝えていくことの重要性を再認識する。(中央公民館共同事業)

- 対象・人数 成人 延べ283人
- 開催期間 平成23年8月27日(土)～11月26日(土) 全4回
- 会場 ミレニアムセンター佐倉 ホール
- 講師 (財)印旛沼環境基金、ほか
- 学習目標 印旛沼の自然について理解を深める。

○学習プログラム

回数	日時	学習内容	指導者	会場
1	8月27日(土) 13:30～15:30	利根川東遷事業	阿由葉 司(千葉県立 現代産業科学館上席 研究員)	ミレニアムセン ター佐倉
2	10月1日(土) 13:30～15:30	江戸期の掘割工事	鎚木 行廣 (成田高 等学校教諭)	ミレニアムセン ター佐倉
3	10月29日(土) 13:30～15:30	吉植庄亮と吉植農場	五十嵐 行雄(郷土研 究科)	ミレニアムセン ター佐倉
4	11月26日(土) 13:30～15:30	印旛沼開発事業	内田 儀久(郷土研究 科)	ミレニアムセン ター佐倉

○講座を終えて

身近な印旛沼への理解と関心を深める内容で、多くの参加者からも印旛沼を見る目が変わったとの声が聞かれた。印旛沼については、専門的な目で見て考える貴重な機会であった。

## 佐倉学入門講座

### ①「ちょっといいところ見て歩き 「本佐倉城址と周辺の散策」

○開設趣旨 見学学習により、市内の名所旧跡など佐倉の歴史・文化を知るとともに、自然と環境などのテーマごとに企画・現地見学主体の講座に参加して地域への理解や関心を深める一助として実施します。

○対象・人数 成人 20人

○実施日時 平成23年5月21日(土) 午前9時～正午 本佐倉城と周辺

○講師 市文化課学芸員

○学習目標 地域の歴史・自然環境についてテーマごとに、講師の説明を聞きながら実際に歩いて見て回ることによって地域への理解と関心を深め、地域の再発見・愛着へを深める学びへと深めていく。

○学習プログラム

大佐倉駅～勝胤寺(千葉氏石塔群)～延命水～国指定史跡本佐倉城跡～大佐倉駅

○講座を終えて 多数の申込みがあり市民の歴史散策への関心の高さが窺えました。また、交通量の少ないルートだったことから参加者も見学に集中することができ、比較的高齢な方が多い歴史散策にはルートの選択も考慮すべき要素だと思われます。

## ②「ちょっといいところ見て歩き 「一臼井の史跡を訪ねて」

- 開設趣旨 臼井城址など史跡等と周辺自然環境について精通している講師より説明を受けながら春の臼井地区を散策する。
- 対象・人数 成人 17人
- 実施日時 平成23年4月27日(水) 午後1時～4時 臼井城址周辺
- 講師 高橋 三千男 氏(歴史関係)  
松平 喜美代 氏(自然関係)
- 学習目標 地域の歴史・自然環境についてテーマごとに、講師の説明を聞きながら実際に歩いて見て回ることによって地域への理解と関心を深め、地域の再発見・愛着へを深める学びへと深めていく。
- 学習プログラム  
稲荷台砦跡～大手門跡～臼井城址公園～円応寺～阿辰の墓～長源治～道譽上人の墓～宿内砦～稲荷台砦
- 講座を終えて 多数の申込みがあり市民の歴史散策への関心の高さが窺えました。今回は臼井城の仕組みに重点を置いた散策であり、今まで触れることの少なかった大手門から城の中核部にかけて、更には宿内砦まで歩いた。市内城跡講師ならではの説明・解説に参加者からは熱心な質問も多く、植物解説にもメモをとる参加者が多く見られた。幅広い年齢層の参加者は満足していました。

## 中世の佐倉・臼井城とその時代

- 開設趣旨 地域の特色を活かした佐倉学入門講座である。中世の臼井の歴史を語る上で欠かせない臼井城について、講義と見学により学ぶ。
- 対象・人数 成人 延べ55人
- 開催期間・会場 10月～11月(10/27・11/10・11/24) 3回  
臼井公民館集会室・四街道市・臼井地区
- 講師 市文化課学芸員
- 学習目標 最新の研究成果などから見えてきた往年の臼井城城址を捉え、また、より深く理解できるように実際に現地を見て歩くことで学習効果を深めることできる
- 学習プログラム

回数	日時	学習内容	指導者	会場
1	10月27日(木) 10:00～12:00	臼井城の歴史や現地関連の最新状況	文化課学芸員 日暮冬樹 氏	臼井公民館集会室
2	11月10日(木) 9:00～12:00	臼井城と同時代の近隣城址巡りと収蔵庫の見学	文化課学芸員 日暮冬樹 氏	四街道市等
3	11月24日(木) 10:00～12:00	臼井城址見学 宿内砦～長源寺～臼井城址～ 外城跡～大手門跡等	文化課学芸員 日暮冬樹 氏	臼井城散策

- 講座を終えて  
この講座は、参加者が臼井、千代田の地域の自然や歴史に対してより多くの興味を持ち、地域の良き理解者となって欲しいという期待をこめた事業である。  
当時の支配領域の支城など普段ふれることの少ない範囲まで掘り下げ、3回の連続講座であることから、参加者同士の交流など生じて、より充実した講座となった。参加者のアンケートからも、連続

講座を求める意見もあることから今後も地域の歴史を広く紹介することに努めたい。

## 佐倉学講座

### 「成田道を歩く－佐倉と深い関わりのある歴史街道－」

- 開設趣旨 佐倉新町から成田山新勝寺まで成田道を歩き、成田道に係る様々な学習を通し、郷土佐倉への理解を深める。成田道や佐倉藩に関わる地を巡る。(社会教育課共同事業)
- 対象・人数 成人 延べ283人
- 開催期間 火曜日コース：平成24年1月17日～1月31日 全3回  
金曜日コース：平成24年1月27日～2月10日 全3回
- 会場 佐倉市～成田市(成田道)
- 講師 八千代市郷土歴史研究所 村田 一男 氏 他
- 学習目標 成田道に係る様々な学習を通し、郷土佐倉への理解を深める
- 学習プログラム

	日時	コース	指導者	距離
火曜日 コース	1月17日(火) 9:00～12:30	佐倉市立美術館 ～京成酒々井駅	八千代市郷土歴史研究会 会長 村田 一男 氏 他	5.5km
	1月24日(火) 9:00～15:00	京成酒々井駅 ～京成成田駅		7.8km
	1月31日(火) 9:00～12:30	京成成田駅 ～寺台～成田山新勝寺		2.0km ※往復で4.0km
金曜日 コース	1月27日(金) 9:00～12:30	佐倉市立美術館 ～京成酒々井駅		5.5km
	2月3日(金) 9:00～15:00	京成酒々井駅 ～京成成田駅		7.8km
	2月10日(金) 9:00～12:30	京成成田駅 ～寺台～成田山新勝寺		2.0km ※往復で4.0km

#### ○講座を終えて

本事業は、社会教育課と公民館共同事業として実施した。

講座では、江戸から成田までを結んだ重要な街道であった「成田道」を、佐倉市立美術館から成田山新勝寺まで全3日の行程に分け、史跡見学をしながら実際に歩いた。

受講生は、普段生活の中で成田道を利用しながらも、その歴史については知らない方が多く、講師の話に熱心にメモを取り、質問や意見を交換し合うなど、活発な学習の場となった。また、本事業は参加希望者が大変多く、市民の史跡散策に対する関心の高さが伺えた。今後も、佐倉の歴史に関する事業を展開する中で、史跡散策のニーズも捉えながらより良い講座の展開を図っていきたい。

## 佐倉学入門講座

### ①写真展「写真に見る印旛沼と昭和40年代」

- 開催趣旨 白井・印旛沼の自然や地区の成り立ちなどについて写真資料から当時の様子を振り返りながら、現在の街並みへの変化を個々に考察する。
- 開催期間 8月10日～28日(20, 22除く)
- 会場 白井公民館展示室 1, 547人



- 学習目標 古い写真を見て、当時の町並みや自然環境と現在の町並みの比べることで地域の移り変わりについて改めて次世代への大切なものを引き継いでいくこと、記録することの大切さを学ぶ。

○学習プログラム

回数	日時	学習内容	会場	協力
1	8月 9:00~17:00	昭和 40 年代の記録写真から当時と現在を比較を通じて歴史文化の継承・記録の重要性について再発見する。	臼井公民館 展示室	・千葉県立中央博物館 ・佐倉市市史編さん室

○講座を終えて

誰もが予備知識なくとも分かりやすい写真により、古き良き地域の様子を学ぶことを意図した写真展である。来場者の関心も深いことから、今後も地域への関心と理解を深めていくきっかけとして更に画像資料等を提供につとめたい。

②写真展「ちょっといいとこ見て歩き」

- 開催趣旨 当館主催の「ちょっといいとこ見て歩き」などの歴史散策などで巡っている臼井地区を中心とした市内の見どころと臼井・千代田地区の史跡・文化財等を紹介。地域の移り変わりについて改めて次世代への大切なものを引き継いでいくこと、記録することの大切さを学ぶ。

○開催期間 2月7日～12日

○会場 臼井公民館展示室 708人

- 学習目標 古い写真を見て、当時の町並みや自然環境と現在の町並みの比べることで地域の良さを再発見しきっかけと公民館の事業について理解と関心を深めてもらう。

○学習プログラム

回数	日時	学習内容	会場	協力
1	8月 9:00~17:00	昭和 40 年代の記録写真から当時と現在を比較を通じて歴史文化の継承・記録の重要性について再発見する。	臼井公民館 展示室	・千葉県立中央博物館 ・佐倉市市史編さん室

○講座を終えて

これまで当館で実施してきた写真展の多くは地域の過去を紹介することに重点が置かれていたことから、新たに現代の地域の情報を発信していくこと・重点観測を通じて地域の記録を長期継続することで地元への理解と関心を深めることで郷土愛・共通の認識を深められる効果が期待できます。今後は、まちづくり資料室の活用と合わせて充実を目指しながら事業効果の拡大を図っていきたい。

## 4. 広報展示事業

### 広報事業

#### 臼井公民館のおしらせ(公民館だより)配布

- 趣旨 公民館事業などへの理解を深め積極的な参加を図るための情報提供。
- 配布方法 抽選会場及び公民館・市民音楽ホール内のパンフレットコーナー等に配置。
- 発行回数 2回(6月・2月)

- 及び部数 各500部  
 ○規格等 A4版 モノクロ1色両面印刷

## 展示室の貸出し

- 市民ギャラリーとして、広く市民の日頃の活動の発表・展示の場として提供している。グループの発表に使いやすい施設との評判をいただき、30前後の年間利用団体がある。
- 開室日・開室時間 月(第1・3・5)・火・木・日曜日 9時～17時  
 水・金・土曜日 9時～21時
- 休 室 日 第2・4月曜日、年末年始等
- 使用について 予約受付けは6ヶ月前から  
 貸出期間は1団体、火曜日から日曜日までの6日間を基本とする。
- 利用団体数 28団体
- 観覧者数 21,357人
- 使用料について 原則として無料。但し、個展・〇〇先生展・〇〇教室展示会等営利や売名行為的内容のあるものや、市外の方の使用については有料とする。  
 使用料 午前960円、午後1,280円、夜間1,260円

## ・23年度開催展示会一覧

\*入場者数は主催者届け出による

番号	行 事	主催者(ジャンル)	期 日	入場者数/人
1	書を楽しむ会作品展	書を楽しむ会	4/1 ~ 4/4	167
2	佐倉刻字愛好会作品展	佐倉刻字愛好会	4/12 ~ 4/17	506
3	キルトサークル作品展	キルトサークル	4/23 ~ 4/24	320
4	臼井ルネサンス作品展	臼井ルネサンス	5/10 ~ 5/15	2,900
5	さくら遊友写楽会作品展	さくら遊友写楽会	5/24 ~ 5/27	350
6	葦の会油絵展	葦の会	6/7 ~ 6/12	727
7	杉の子作品展	杉の子	6/12 ~ 6/26	1,334
8	水彩仲間 18 作品展	水彩仲間 18	6/15 ~ 6/19	512
9	ワールサークル作品展	ワールサークル	6/28 ~ 7/3	397
10	しづ美術サークル作品展	しづ美術サークル	7/19 ~ 7/24	586
11	ヴァルール作品展	ヴァルール	7/26 ~ 7/31	631
12	臼井公民館写真展	臼井公民館	8/10 ~ 8/28	1,547
13	アビロン(AVIRON)作品展	アビロン(AVIRON)	8/30 ~ 9/4	1,388
14	春秋会作品展	春秋会	9/5 ~ 9/11	904
15	サークルK 作品展	サークルK	9/27 ~ 10/2	665
16	リブ・フォーエバー作品展	リブ・フォーエバー	9/20 ~ 9/25	439
17	四酔会作品展	四酔会	10/4 ~ 10/9	589
18	彩流会作品展	彩流会	10/25 ~ 10/30	810
19	勝山会作品展	勝山会	11/15 ~ 11/20	482
20	花よう美の朝作品展	花よう美の朝	11/22 ~ 11/27	425
21	臼井公民館写真展	臼井公民館	2/6 ~ 2/12	710
22	みさおの会作品展	みさおの会	2/14 ~ 2/19	422

23	まきな会作品展	まきな会	2/21 ~ 2/26	1,133
24	しづ美術サークル作品展	しづ美術サークル	2/28 ~ 3/4	644
25	翔 作品展	翔	3/6 ~ 3/11	1,081
26	ワールサークル作品展	ワールサークル	3/13 ~ 3/18	518
27	白蝶作品展	白蝶会	3/20 ~ 3/25	1,123
28	書を楽しむ会作品展	書を楽しむ会	3/29 ~ 3/31	47
				21,357

## 5. 図書事業

○開室日・開室時間 火（第1火曜日を除く）～日曜日 9時～17時

○休 室 日 月曜日・第1火曜日・年末年始・特別整理期間

○貸 出 方 法 登録制で貸出券による。

1回につき1人10冊まで15日間貸出す。

○蔵 書 数

・一般図書	26,422冊	・郷土資料	1,795冊
(音楽関係図書を含む)		・その他	671冊
・児童図書	11,042冊	・楽 譜	4,169冊
蔵書冊数	44,099冊 (平成24年3月末現在)		
・雑 誌	27誌	・新 聞 (朝刊)	8紙

○月別図書室利用状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	4,439	4,432	4,394	4,556	4,598	4,311	4,494	4,236	3,867	3,584	4,134	4,379	51,424
貸出冊数	12,357	12,186	11,988	13,169	13,073	12,221	12,587	11,982	11,334	10,683	11,769	12,731	146,080
開館日数	25	25	25	26	25	25	25	23	21	23	12	26	281

※臼井公民館図書室は図書館の分館的な機能を持ちながら、市民音楽ホールとの複合施設としての特殊性と地域性を考慮しつつ、児童・一般図書その他、楽譜・音楽関係図書の充実を図ることにより、特色ある図書室運営をめざす。

## 6. 団体育成事業

臼井地区子ども会育成会連絡協議会(臼井子連)

○臼井地区の単位子ども会の発展をねがい、関係機関団体との連携をはかりながら、各育成会同士の情報交換や育成者の研修を行う。

○加盟団体数 13団体

○主な事業

4 / 8(金) 総会・安全会説明会

8 / 20(土) 臼井ふるさとにぎわい祭りに参加(模擬店出店・チャリティー寄付)

10 / 1(土) 中央交流フェスティバル

### かたりべの会

○昭和60年度の講座「民話を語る会」の受講生を中心に、昭和61年2月に発足。子どもにお話を語ることを目的に、毎月1回、お話の練習として定例会を行っている。

○定例会 第2水曜日 10時～12時 各人が覚えてきたお話を語り、後で感想を述べあうなどして、技術の向上を図る。月1回、会だよりを発行。

○会 員 25人

○活動記録 定例会 4/13・5/11・6/8・7/13・9/14・10/12  
11/17・12/14・1/11・2/8・3/14

毎月第3月曜日に、文庫「小さな図書館」にて、おはなし会を開催。